

わたしの住んでいる町について

安藤 由佳

わたしは、別府市の関の江、新町という所に住んでいます。町のすぐ近くに、関の江の海水よく場があります。七月の終わりくらいに、関の江の海岸の清そうがあって、お父さんと朝早くから、そうじに出かけました。

海のそばでゴミを捨てて歩きました。カッターメンのよう器やビニールぶくろやペットボトル、ガラスのはへんがあって、ゴミぶくろがすぐにいっぱいになりました。

人間が出した、たくさんゴミが、海岸に流れついて、海や砂はまをよごすんだと思いました。

拾ったゴミの中に、とてもきれいな色の角の丸くなったガラスのはへんが、いくつもありました。きっと、ガラスのビンがわれて海まで流れついてきて、波にもまれて、うちに、角がとれて丸くなったんだと思います。とてもきれいなので、もったいないなあ。

思っていたら、リサイクルをしたガラスを使  
って、風鈴を作っている町があると聞きまし  
た。「かわち風鈴」や「みしま風鈴」という  
そうです。そこでは、リサイクルしたガラス  
のビンから、風鈴作りに使えそうなビンを選  
んで、もう一度とかがします。その時は、千二  
百度いじょうの高湯でとがすそうです。

われたビンから風鈴が出来るなんてすごい  
な<sup>あ</sup>と思います。

わたしの町でも、リサイクルガラスで風鈴  
をたくさん作ったら、ステキだな<sup>あ</sup>と考えま  
した。亀川駅の待ち合い室や、病院や、スーパ  
ーマーケットの入り口にかざって、チリンチ  
リンと、すずしい音を鳴らしてくれたら、み  
んなの心がいやすれます。

だから、別府市にも風鈴を作って、かざっ  
てほしいです。